第５回　湖西市定住自立圏共生ビジョン懇談会　会議録

開催日時	平成 27 年 9 月 7 日（月）午後 1：30～午後 2：05
開催場所	湖西市健康福祉センター（おぼと）3 階　研修室
委　　員	（出席者）　10 人　（欠席者）　1 人　（事務局）　5 人

内　　容

1　事務局のあいさつ

今回の懇談会は、2 年を経過したビジョンの時点修正を目的として開催。

（新しく委員になった方のために定住自立圏制度の説明。）

2　委員の紹介

新任委員の紹介

3　議題

(1)　委員長の選任及び副委員長の指名について

委員の推薦により、竹島委員長を選任。委員長より伊藤副委員長を指名。

(2)　定住自立圏共生ビジョンの修正（案）について

・「定住自立圏共生ビジョンの概要」、「定住自立圏共生ビジョン懇談会」について、事務局から説明

・続いて「定住自立圏共生ビジョン（変更案）における修正箇所」、「前回ビジョンから増減のあった主な事業と理由」について、事務局から説明

（質疑応答）

委　員：今回の変更案について、各事業の修正箇所はどのような方法で内容を確認したのか。また、新しく加えた事業はあるのか。

事務局：各事業の修正箇所については、担当課に事業概要等の修正があるかを確認し、その内容を反映させている。また、今年度の変更案については、前年度の数値等と比較ができるよう、見え消し表示とした。今回、変更案に新しく加える事業はないが、「湖西市総合戦略有識者会議」の中で検討している事業を、「定住自立圏共生ビジョン」に新しく加える事業とする可能性もある。

委　員：平成25年度から始まって、今回は計画の中間の年にあたる。今回の見直しについて、事業費の総額が当初の平成25年度に作成した計画に比べ103.5%となっている。政策別の推移でみると、「1　生活機能の強化」、「2　結びつきやネットワークの強化」、「3　圏域マネジメント能力の強化」のそれぞれが増減して

いる。さらに細かい事業別にみても、増減している。環境分野の代表という立場で環境項目の部分に注目すると、「新エネルギー等の導入支援」事業は、当初計画の総事業費に比べて約63％になっている。先ほど説明のあった中でも「地震対策事業」は昨年度に比べ大きく減少している。全体の予算の中でバランスをとり配分されているとは思うが、予算を増やす事業、減らす事業の理由（例えば内容を見直しして事業費を適正化したなど）、もう少し理由がわかりやすく掲載された資料があればよいと思う。

事務局：この場でそれぞれの事業における疑問を質問していただき、全ての内容について事務局で回答が出来ればよいのだが、実際に掲載されている事業はそれぞれの担当部署で展開している。そのため、事務局では細かいところまで回答することが出来ない。来年度は、事前に資料を配布する際、委員から意見・質問などを提出していただくような方法を検討する。そして、その意見・質問について事務局の方で担当課に詳細な理由等を確認し、よりわかりやすい説明をできるような体制をとり、この懇談会をより良い形にしていきたい。

委　員：了解した。市の事業は内容がわかりにくい部分もあるため、可能であればお願いしたい。

委　員：22ページにある将来目標人口が64,000人とあるが、これについてはあまりにも目標値が高すぎるのではないか。平成26年度末の人口が大体どれくらいになっているか、わかれば教えていただきたい。

事務局：約61,000人。いま意見の出た64,000人という数字については、「新・湖西市総合計画」に将来目標として数値を記載している。実際、現在国から示されている湖西市の将来人口推計は、2040年に48,000人くらいに落ち込むとなっている。こうした中で、現在国から全ての市町村へ総合戦略の策定の要請が行われ、将来的な人口についても長期的なビジョンを定めることとなっている。今後、「湖西市総合戦略」を策定する会議の中で、平成32年度に将来人口推計64,000人という数値を大幅に修正していく事になると考えている。

委　員：今湖西市では毎年2,000人から3,000人くらい人口が減少しているのではないか。

事務局：平均して300人くらい減少している。一時に比べると多少横ばいになってはいる。

委　員：まずは「湖西市総合戦略有識者会議」のなかで話合いを行い、定住自立圏共生ビジョンにおいてはそのままとするという理解でよいか。

事務局：よい。

4　事項連絡

・今後のスケジュール

・事務連絡